安　全　デ　ー　タ　シ　ー　ト

整理番号 TNI 00204
作成日 2005/12/1
最終更新日 2015/1/1

1. 化学物質及び会社情報

会　　社　：大陽日酸株式会社
住　　所　：〒142-8558　東京都品川区小山 1-3-26 東洋 Bldg.
担当部門　：SI 事業部　　担 当 者 ：平　　博 司
電話番号　：03-5788-8695　　FAX 番号 ：03-5788-8710
緊急連絡先：SI 事業部（電話番号 03-5788-8550）
メールアドレス： Isotope.TNS@tn-sanso.co.jp
ホームページアドレス：http://stableisotope.tn-sanso.co.jp

化学物質　　メタノール

製品名　　メタノール-^{12}C、メタノール-^{13}C、メタノール-OD、メタノール-d_1
メタノール-d_2、メタノール-d_3、メタノール-d_4、メタノール-^{13}C-OD
メタノール-^{12}C,d_4、メタノール-^{13}C,d_4、メタノール-^{17}O、メタノール-^{18}O

＊ 安定同位元素で標識された化合物は、標識核種及び位置により製品名称が異なりますが、安全性データは非標識化合物と同一とみなします。従って、特に指定しない限り本シートに記載されているデータは、非標識化合物のデータを採用しています。

---

2. 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性：	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	区分 2
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外

	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	区分外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分 5
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分外
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類対象外（粉じん）
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない（ミスト）
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2A - 2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分 1B
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分 1 （中枢神経系、視覚器、全身毒性） 区分 3 （麻酔作用） 区分 3 （気道刺激性）
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分 1 （中枢神経系、視覚器）
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性：	水生環境急性有害性	区分外
	水生環境慢性有害性	区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル：

注意喚起語：　危険

危険有害性情報：　引火性の高い液体及び蒸気
飲み込むと有害のおそれ（経口）
強い眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
中枢神経系、視覚器、全身毒性の障害
眠気又はめまいのおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
長期又は反復ばく露による中枢神経系、視覚器の障害

注意書き：　【安全対策】
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。静電気放電や火花による引火を防止すること。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
【応急措置】
火災の場合には適切な消火方法をとること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚（又は毛髪）に付着した場合：直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。

ばく露又はその懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】
容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

---

3. 組成・成分情報

単一製品/混合物の区分･･･ 単一の化合物
化学名 ･･･････････････ メタノール
別名 ･･･････････････ メチルアルコール
含有量 ･･･････････････ ９９．０%以上
化学式又は構造式 ･････ CH_3OH
官報公示整理番号 ･････ 化審法（２）－２０１
ＣＡＳ番号 ･･･････････ ６７－５６－１
国連分類番号 ･･･････････ ３ （引火性液体）
国連番号 ･･･････････････ １２３０

---

4. 応急措置

目に入った場合 ･･･････ 直ちに１５分間以上水で洗眼し、医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合 ････ 直ちに汚染された衣服を脱がせて、水で十分に洗う。
吸入した場合 ･･･････････ 直ちに新鮮な空気の場所に移し、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合 ･･･････ 直ちに嘔吐させ、医師の手当てを受ける。

---

5. 火災時の措置

消火剤 ･･･････････････ 水、粉末、二酸化炭素、泡（アルコール用）
消火方法 ･･･････････････ 多量の水、粉末、二酸化炭素、泡（アルコール用）を用いて消火する。周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動できない場合は、散水して冷却する。容器が火炎につつまれた場合、爆発の恐れがあるので近付かない。

---

6. 漏出時の措置

･･･････････････････ 風下の人を退避させる。漏洩した場所の周辺への立ち入りを禁止

する。付近の着火源になるものを速やかに取り除く。漏洩した液は、火気に注意しながらできるだけ回収し、残りはぼろ布または砒そう土などに吸収させて焼却する、又は多量の水で充分に希釈して洗い流す。

---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い ・・・・・・・・・・・・・・・ 通風、換気をよくする。適切な保護具を着用して作業する。火気厳禁とする。

保管 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 換気のよい冷暗所に保管する。

---

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 ・・・・・・・・・・・・・ ２００ｐｐｍ

許容濃度 ・・・・・・・・・・・・・ 日本産業衛生学会（１９８４年度版）:

２００ｐｐｍ（２６０ｍｇ／ｍ３）

ＡＣＧＩＨ（１９８５年度版）:

ＴＷＡ ２００ｐｐｍ　ＳＴＥＬ ２５０ｐｐｍ

保護具 ・・・・・・・・・・・・・・・ 有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、保護手袋、保護衣。

設備対策 ・・・・・・・・・・・・・ 局所換気、排気装置を設置する。

---

9. 物理及び化学的性質

外観等 ・・・・・・・・・・・・・・・ 無色液体。

沸点 ・・・・・・・・・・・・・・・・ ６４．７℃

融点 ・・・・・・・・・・・・・・・・ －９６℃

比重 ・・・・・・・・・・・・・・・・ ０．７９２８（２０℃）

溶解度 ・・・・・・・・・・・・・・・ 水に易溶。

蒸気圧 ・・・・・・・・・・・・・・・ ７９９９Ｐａ（１２．１℃）

引火点 ・・・・・・・・・・・・・・・ １１℃

発火点 ・・・・・・・・・・・・・・・ ４７０℃

爆発限界 ・・・・・・・・・・・・・ 下限：６．７２　ｖｏｌ％　上限：３６．５　ｖｏｌ％

揮発性 ・・・・・・・・・・・・・・・ なし。

可燃性 ・・・・・・・・・・・・・・・ 引火しやすい。

爆発性 ・・・・・・・・・・・・・・・ 蒸気は空気と混合して爆発性混合ガスを形成する。

---

10. 安定性及び反応性

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 安定。加熱すると分解して、一酸化炭素およびホルムアルデヒドを生成する。

11. 有害性情報

急性毒性 ・・・・・・・・・・・・・	経口　ヒト　ＴＣＬ０：　８６０００ｍｇ／ｍ３
	皮膚　ヒト　ＬＤＬ０：　３４０ｍｇ／ｋｇ
皮膚腐食性 ・・・・・・・・・・・・	繰り返し触れていると皮膚炎をおこす。
亜急性毒性 ・・・・・・・・・・・・	２００ｐｐｍ を超える蒸気に長時間晒されると、視神経障害又は多発性神経炎の症状が出る。(化学防災指針)
慢性毒性 ・・・・・・・・・・・・・	酸血症、腎臓、肝臓障害を起こす。(化学防災指針)
がん原性 ・・・・・・・・・・・・・	なし。
	吸入 イヌ　１％濃度　３分間 ８回／１日　１００日
	（発癌性レポート）

12. 環境影響情報

分解性 ・・・・・・・・・・・・・・・	データなし。
蓄積性 ・・・・・・・・・・・・・・・	データなし。
魚毒性 ・・・・・・・・・・・・・・・	ＴＬｎ　９６：１０００ｐｐｍ 以上　（化毒総覧）

13. 廃棄上の注意

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	焼却炉で焼却する。

14. 輸送上の注意

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、荷崩れの防止を確実に行なうこと。その他（容器など)、労働安全衛生法、毒物劇物取締法、消防法などの法令に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法 ・・・・・・・・	名称等を通知すべき有害物
	危険物・引火性の物
	名称等を表示すべき有害物
	第２種有機溶剤等
	作業環境評価基準
毒物及び劇物取締法 ・・・・	劇物
消防法 ・・・・・・・・・・・・・・・	第４類引火性液体、アルコール類
大気汚染防止法 ・・・・・・・・	揮発性有機化合物 法第２条第４項
	有害大気汚染物質
	特定物質

海洋汚染防止法 ・・・・・・・・	査定物質
	有害液体物質（D類物質）
バーゼル法 ・・・・・・・・・・・・	廃棄物の有害成分・法第２条第１項第１号イに規定するもの
航空法 ・・・・・・・・・・・・・・・	施行規則第１９４条危険物告示別表第１引火性液体
船舶安全法 ・・・・・・・・・・・・	危規則第２、３条危険物告示別表第１引火性液体類
港則法 ・・・・・・・・・・・・・・・	危険物・引火性液体類
道路法 ・・・・・・・・・・・・・・・	車両の通行の制限
外為法 ・・・・・・・・・・・・・・・	輸出貿易管理令別表第ニ
	輸入貿易管理令第４条第１項第２号
労働基準法 ・・・・・・・・・・・・	疾病化学物質

---

16. その他の情報

【参考文献】

毒劇物基準関係通知集　改訂増補板　厚生省薬務局安全課監修　薬務公報社
化学防災指針　7 巻（1991）
危険物ハンドブック　吉田、田村監訳　丸善（1987）
化毒総覧
作業環境評価基準（労働省告示第 79 号、昭和 63 年 9 月 1 日）別表
溶剤ポケットブック　有機合成協会編　オーム社（1967）
化学品法規制検索システム　日本ケミカルデータベース
GHS 仕様モデル SDS　中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター

＊ この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。また、含有量、物理及び化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に応じた安全対策を実施して下さい。